

令和8年度

業務名：トバヤ橋補修工事

位置：東村字宮城地内

設計図面

位置図

S=1/5,000



図面目録

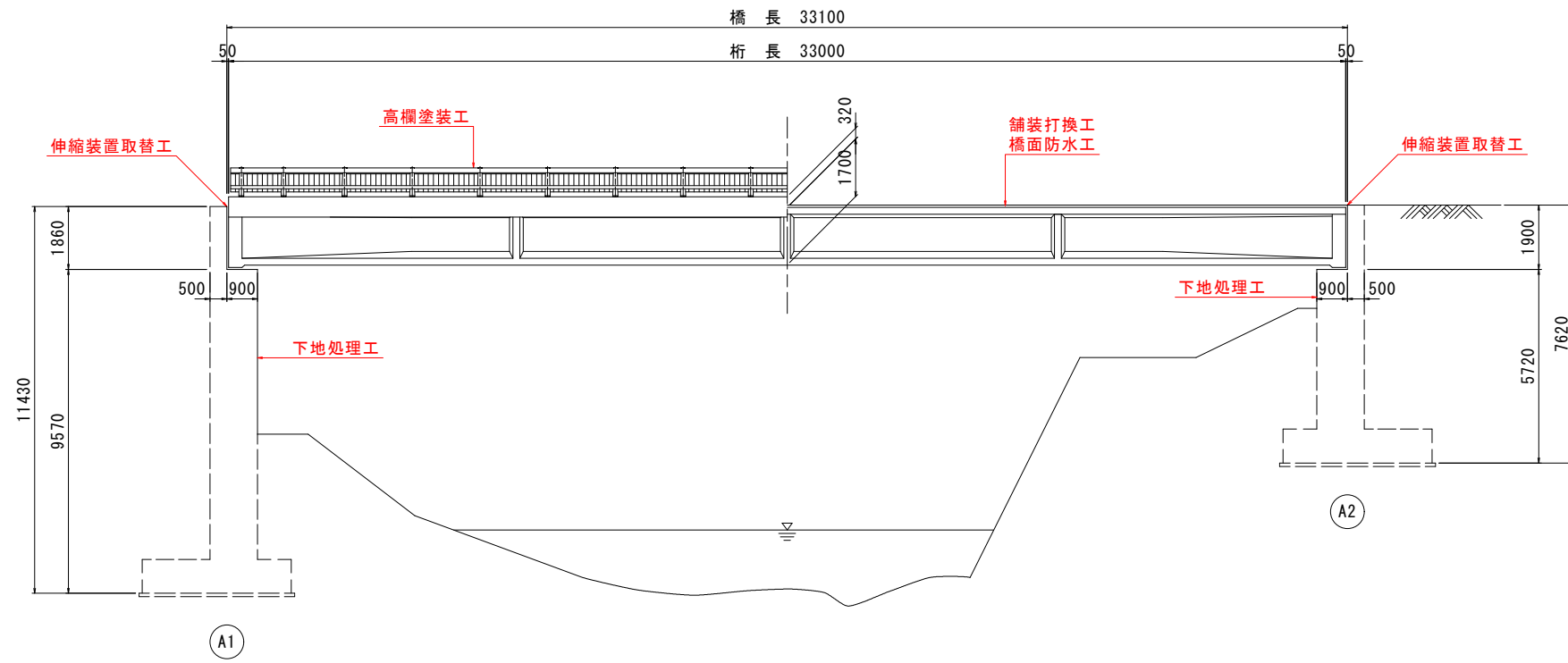
図面番号	図面名称	備考
9 - 1	位置図・図面目録	
2	補修工一般図	補修工
3	伸縮継手詳細図	〃
4	排水装置取替工詳細図	〃
5	橋面防水工詳細図	〃
6	高欄塗装工詳細図	〃
7	下地処理工詳細図	〃
8	仮設足場工参考図	参考図
9	既設橋梁全体一般図	〃

東村役場 建設環境課

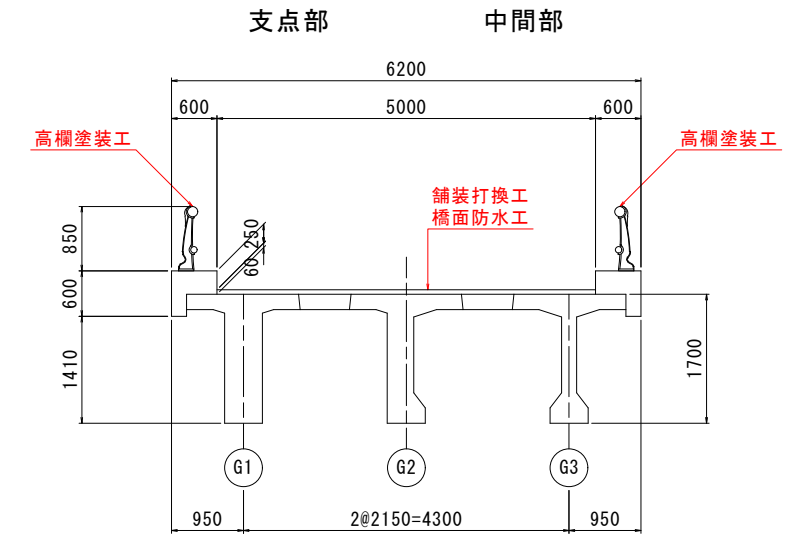
工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	位置図・図面目録		
作成年月日			
縮尺	1/5,000	図面番号	1 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

補修工一般図

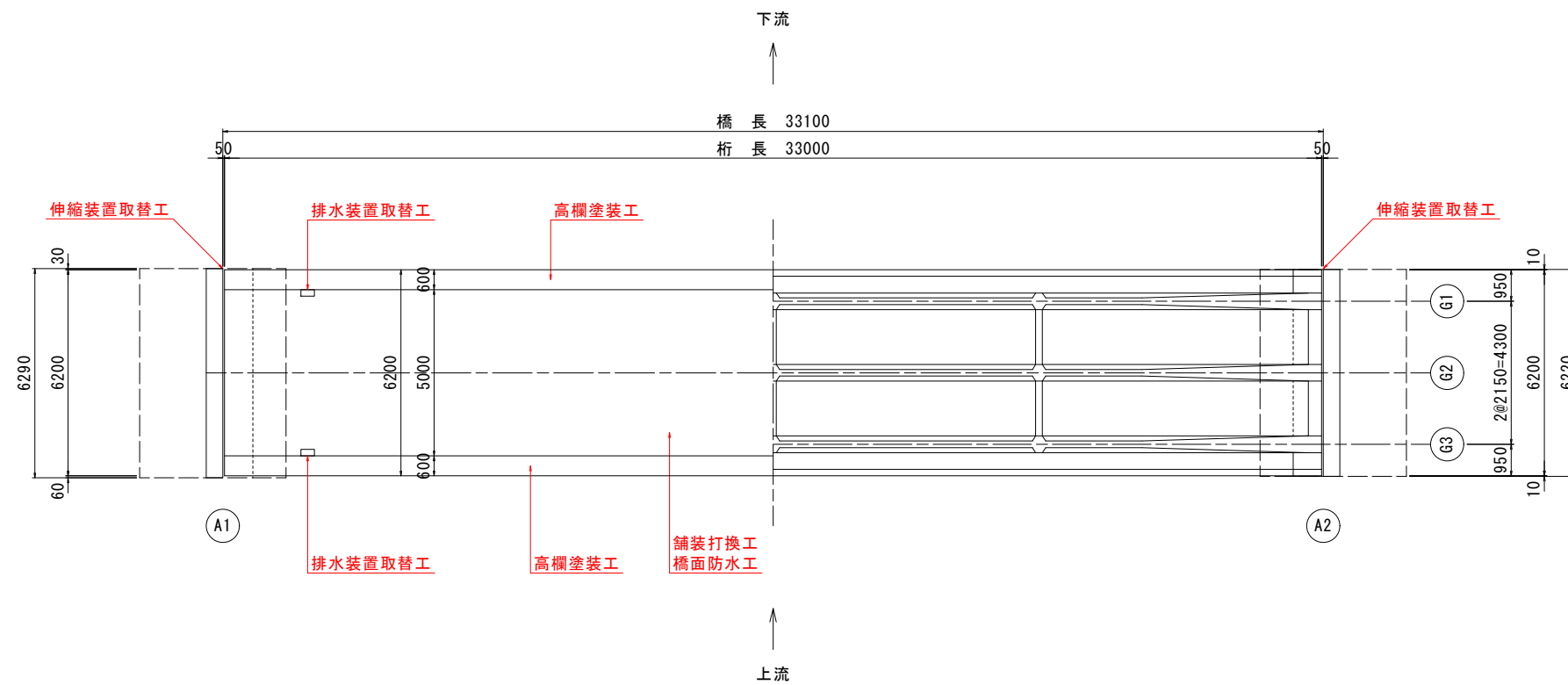
側面図
S=1/100



標準断面図
S=1/50



平面図
S=1/100



補修一覧表

部 材		補修工法および補修内容
下部工	橋 台	下地処理工
路面	伸縮装置	伸縮装置取替工：ゴムジョイント
	橋 面	橋面防水工：塗膜系 橋面排水工：VP管
	舗 装	舗装打換工：アスファルト舗装
	高 欄	塗装工
	排水柵・排水管	排水装置取替工
足場工		防護柵補修用足場 枠組足場

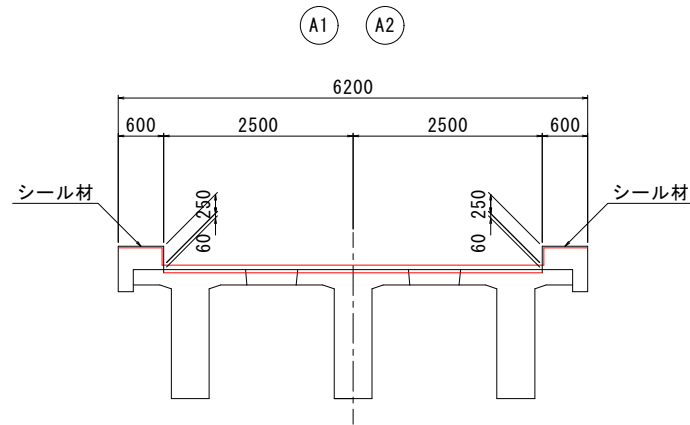
(注記)

1. 本図面は現地計測により作図したものである。
2. 施工前に再度計測を行い、寸法形状の確認を行うこと。

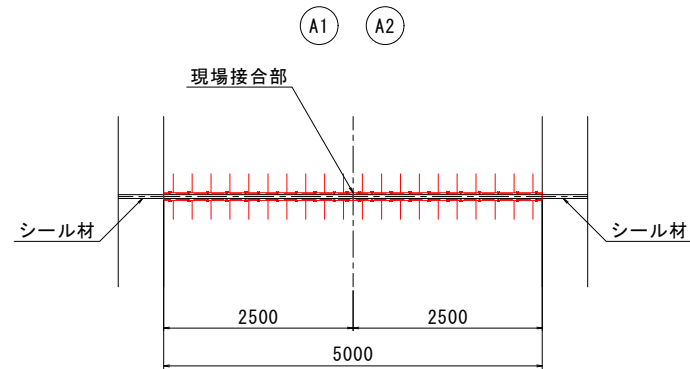
工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	補修工一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

伸縮継手詳細図

断面図
S=1/50

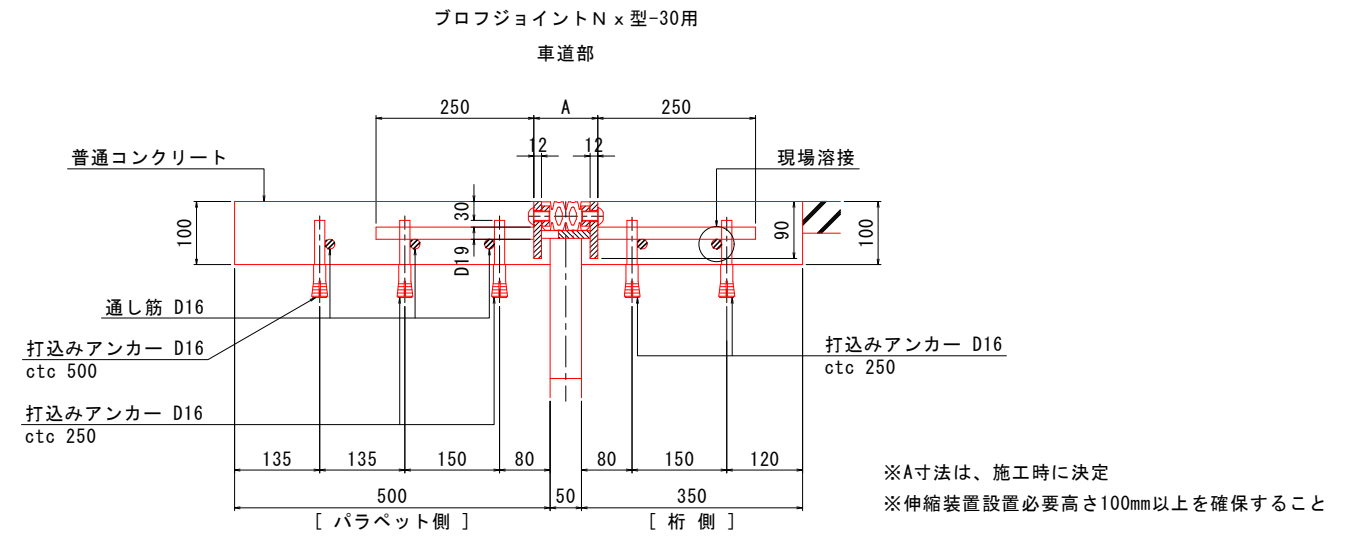


平面図
S=1/50

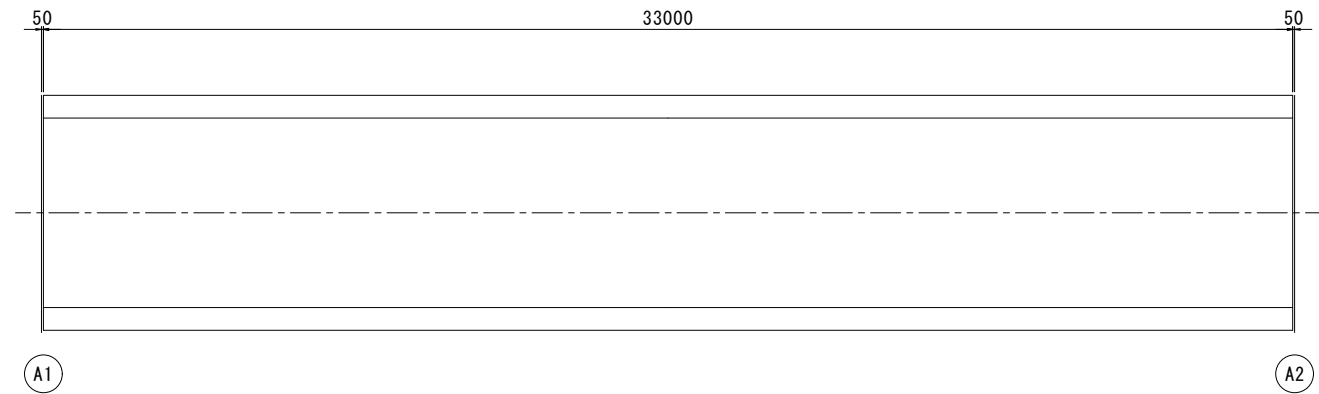


※現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること
また、指定範囲に溶接を施すこと

伸縮継手断面図
S=1/6



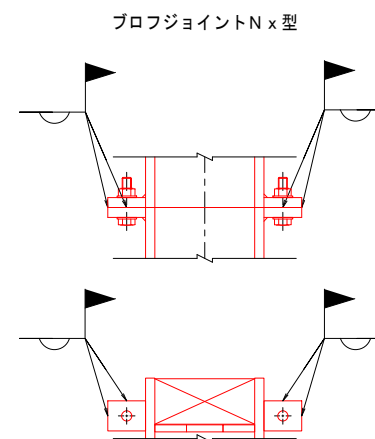
配置図
S=1/100



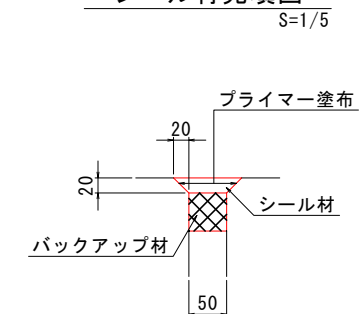
材料表

名称	材質	単位	数量		合計	備考
			A1部	A2部		
プロフジョイントN x 型-30用	SS400 合成ゴム SD345	m	5.000	5.000	10.000	車道用
シール材	シリコン系	リッター	2.380	2.380	4.760	
普通コンクリート	30-12-20	m ³	0.425	0.425	0.850	
打込みアンカー	D16	本	90	90	180	
通し筋	D16x5000	本	5	5	10	上部工・下部工
N x 型用接着剤		式	1	1	2	30用

現場接合部詳細



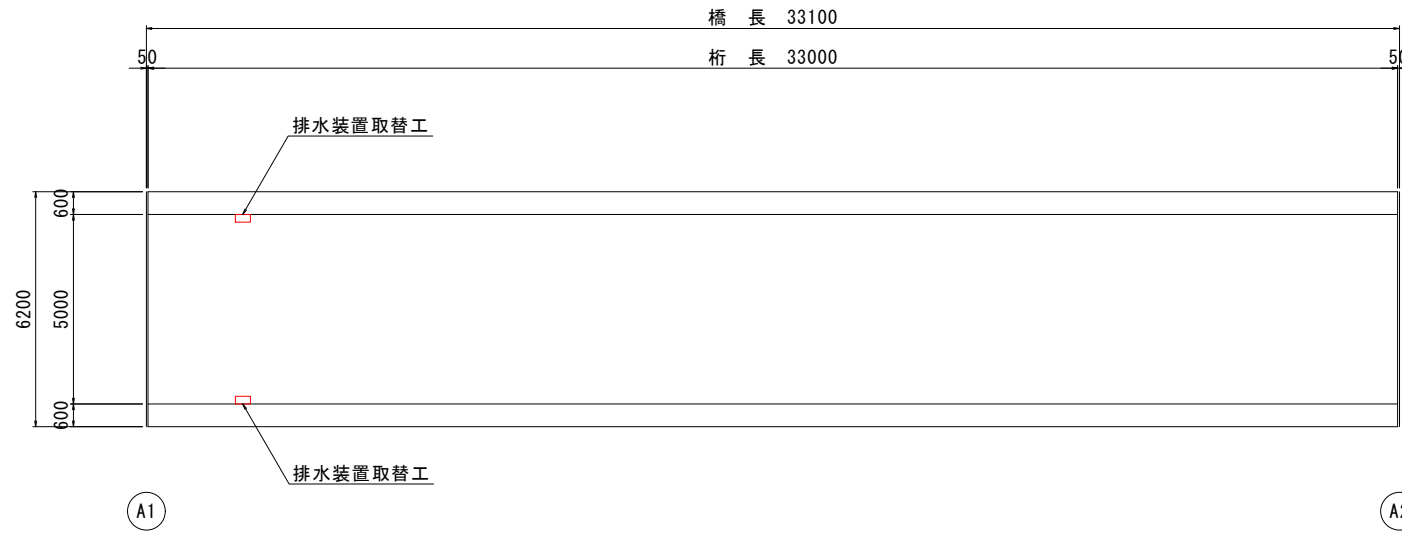
シール材充填図



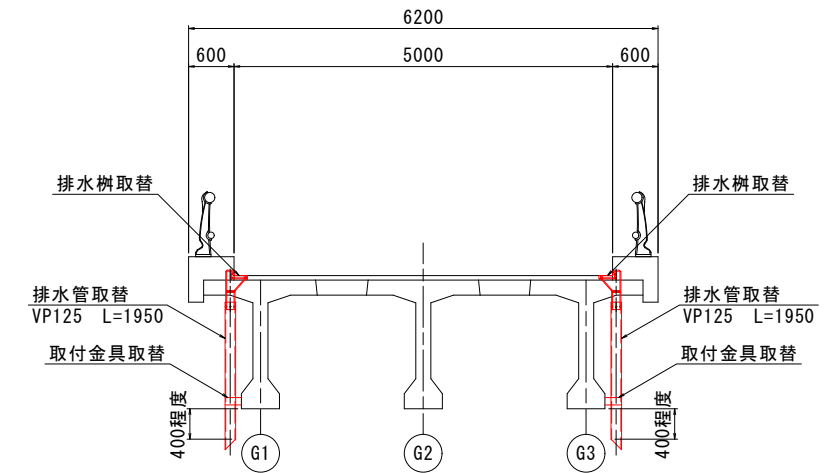
工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	伸縮継手詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	3 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

排水装置取替工詳細図

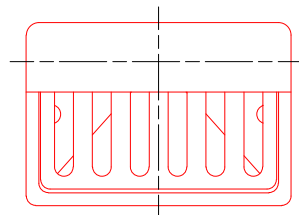
平面図
S=1/100



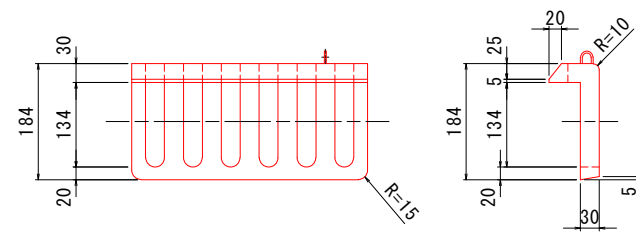
断面図
S=1/50



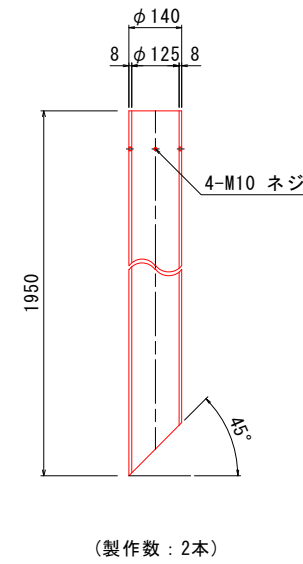
排水樹詳細図
(参考図) S=1/6



目皿詳細図
(参考図) S=1/6



排水管
S=1/10

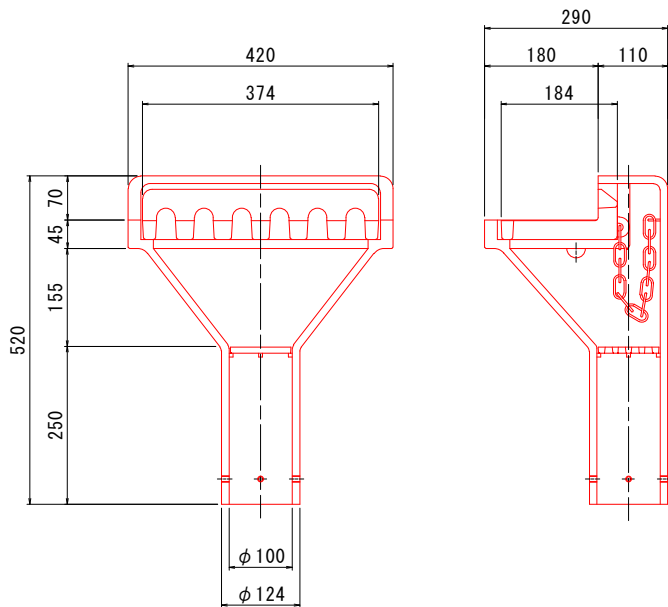
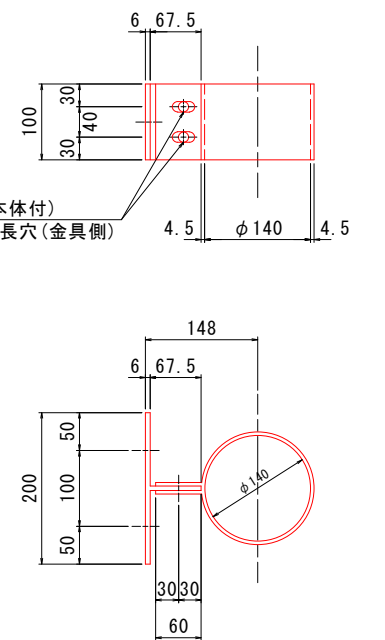


排水管取付金具
S=1/5

取付金具1組当たり(製作数: 4組)

- 1-PL 100×4.5×574
- 2-PL 100×6×68
- 1-PL 100×6×200
- 2-BN M12×40
- 2-アンカーボルト M12×100

2-φ14孔(本体付)
2-φ14×30長穴(金具側)



排水装置取替工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
排水樹・排水管撤去		箇所	2	
排水樹・目皿	420*290*520H	組	2	SS250
排水管	VP125×1950	本	2	
取付金具	VP125用	組	2	SS400

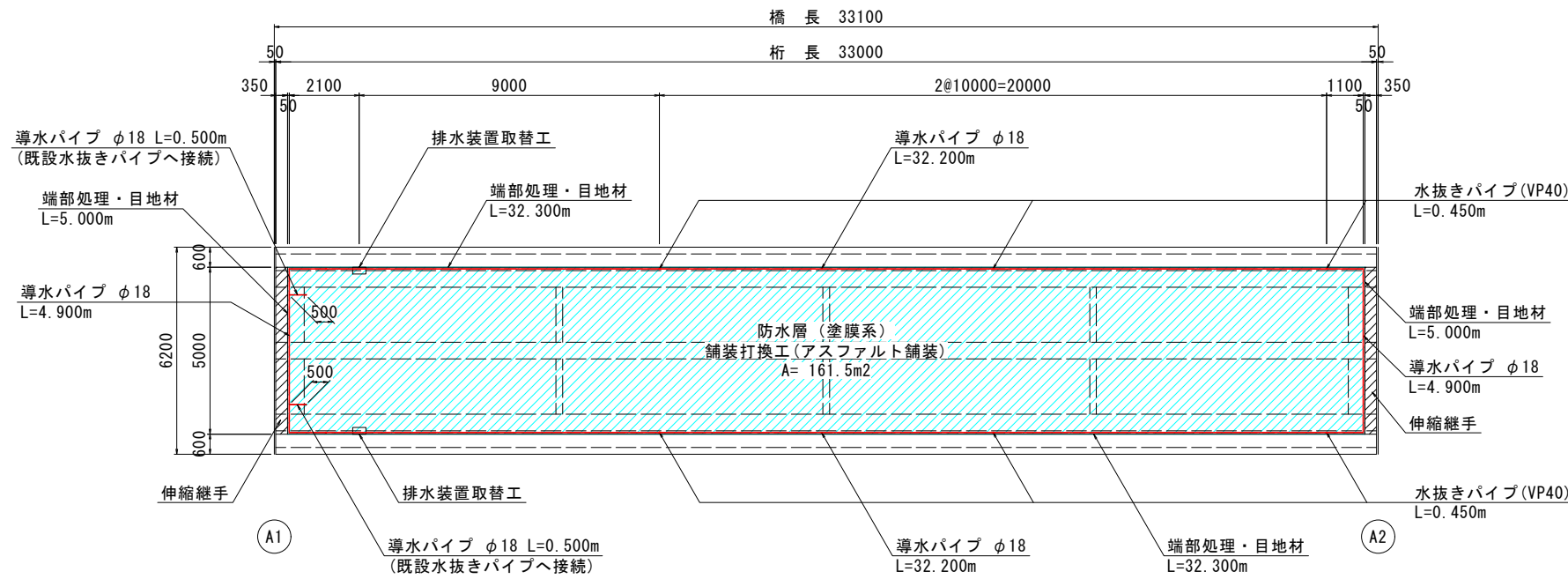
(注記)

1. 施工前に現地計測を行い、設計値と照合すること。
2. 特記なき材質は全て SS400 とする。
3. 表面処理は溶融亜鉛メッキを施す。付着量は、板厚4.5mmは HDZ45 とし、板厚6mmは HDZ55 とする。但し、ボルト・ナット類は HDZ35 とする。

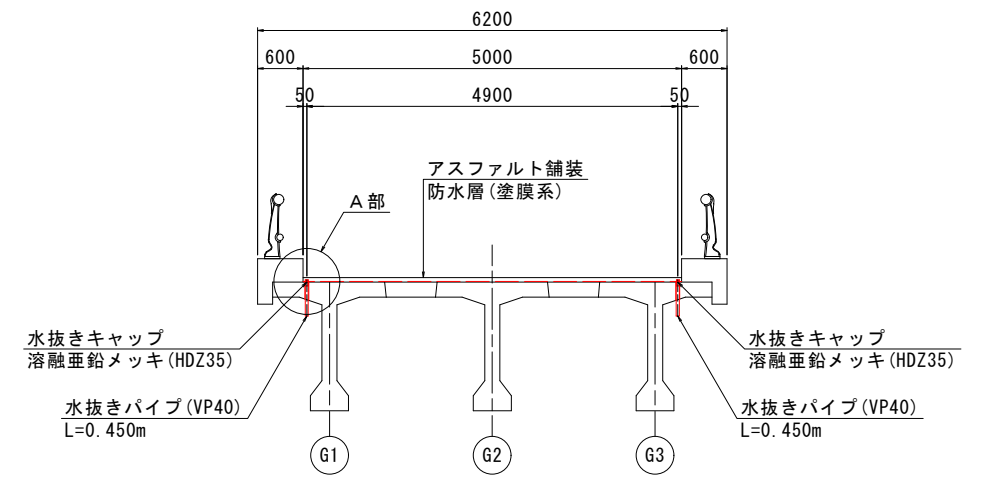
工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	排水装置取替工詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

橋面防水工詳細図

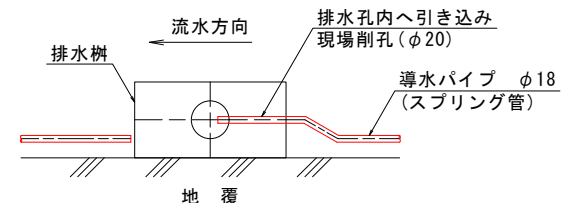
平面図
S=1/100



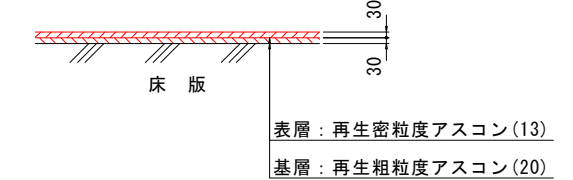
断面図
S=1/50



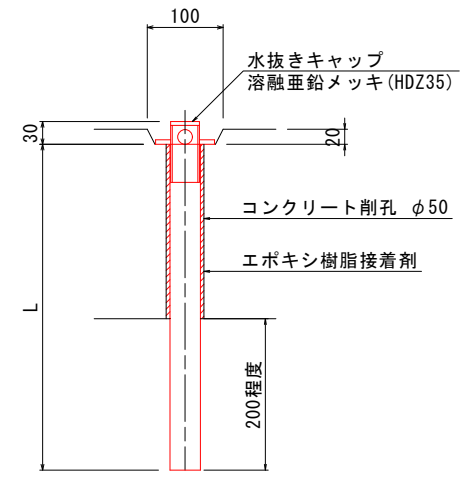
排水樹接続図
S=1/10



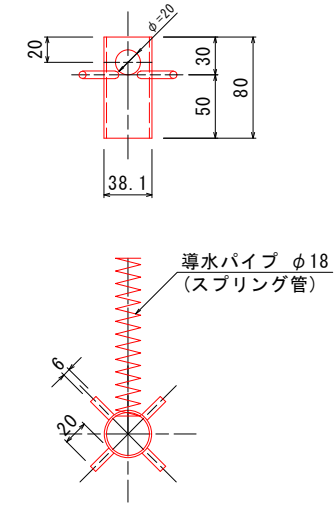
舗装構成図
S=1/20



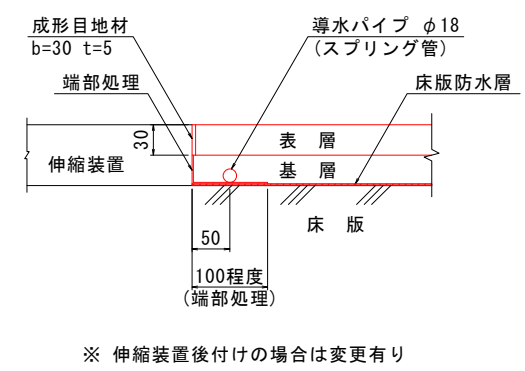
A部詳細図
S=1/5



水抜きキャップ詳細図
S=1/3

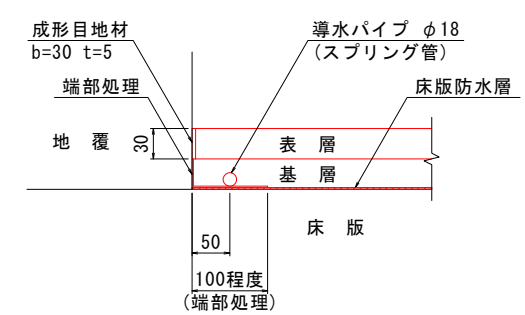


横断排水、端部防水詳細図
(伸縮装置先付け工法)
S=1/5



※ 伸縮装置後付けの場合は変更有り

縦断排水、端部防水詳細図
S=1/5



※ 表面処理は、溶融亜鉛メッキ (HDZ35) とする。

橋面防水工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
床版防水層	塗膜系防水	m ²	161.5	
成型目地材	セシロールSS同等品以上	m	74.6	
端部処理材	シルバーメッシュ同等品以上	m	74.6	
導水パイプ	スプリング管 (φ18)	m	75.2	
水抜きパイプ	VP40	本	6	L=0.450m/本
水抜きキャップ		個	6	溶融亜鉛メッキ
アスファルト舗装	表層: 再生密粒度アスファルト混合物 (13)	m ²	161.5	
	基層: 再生粗粒度アスファルト混合物 (20)	m ²	161.5	

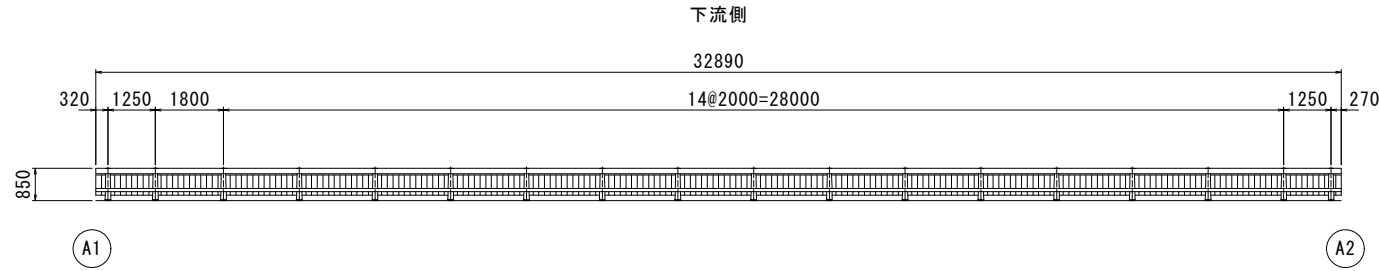
(注記)

1. 施工前に現地計測を行い、設計値と照合すること。
2. 伸縮装置の後打ちコンクリート幅確定後、適宜防水工の数量を変更のこと。
3. 横断方向の端部防水処理は、伸縮装置を先行して設置する際の仕様とする。
4. 舗装厚は推定であるため、施工前に確認し現況に合わせて舗装厚の修正を行うこと。

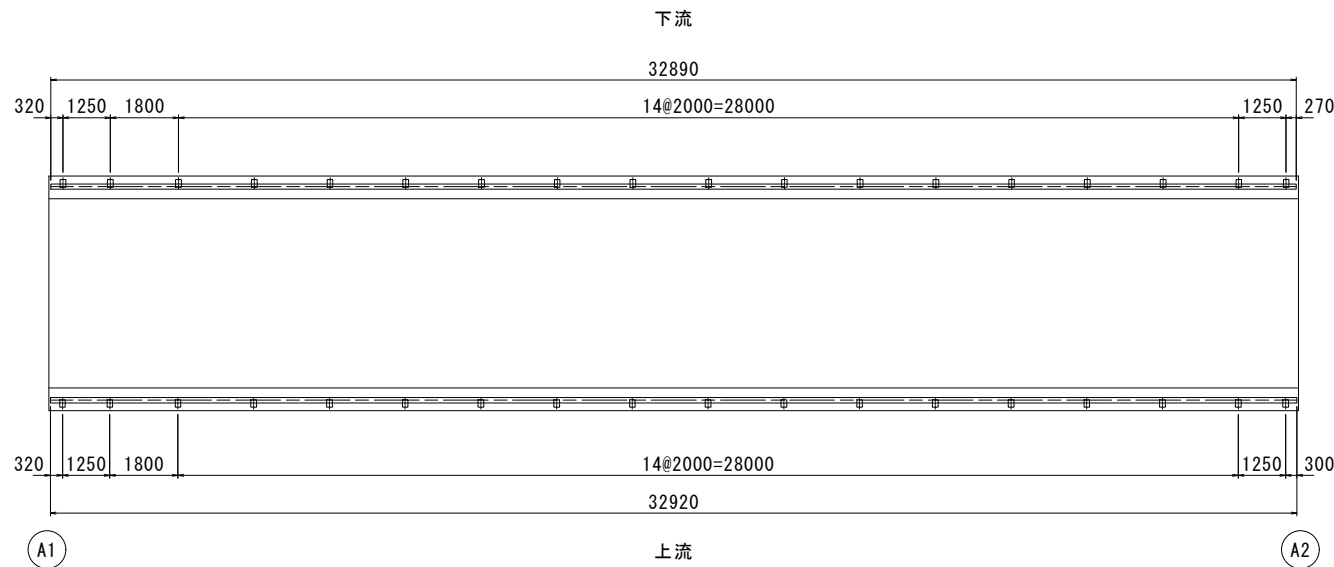
工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	橋面防水工詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	5 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

高欄塗装工詳細図

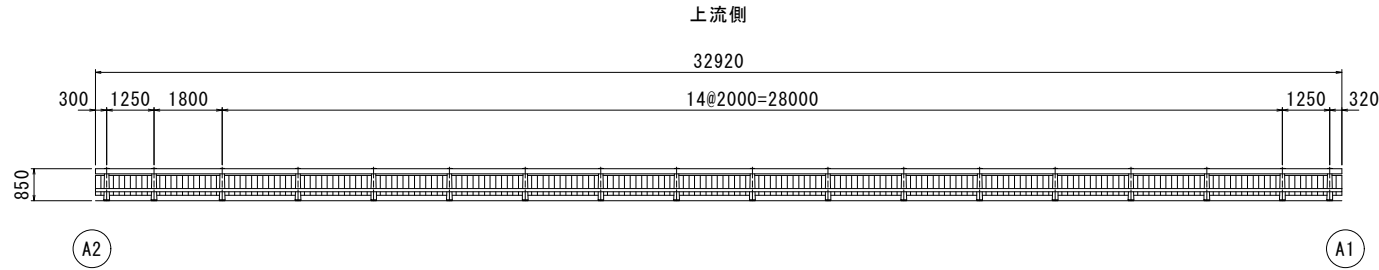
側面図
S=1/100



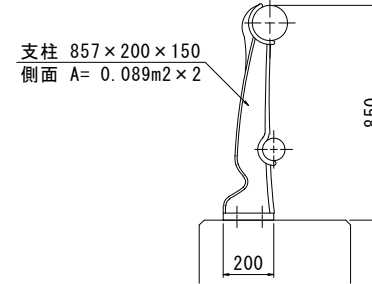
平面図
S=1/100



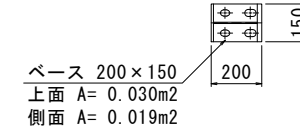
側面図
S=1/100



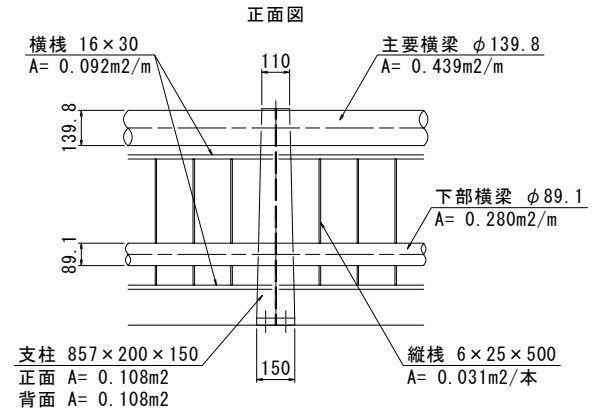
断面図



ベース図



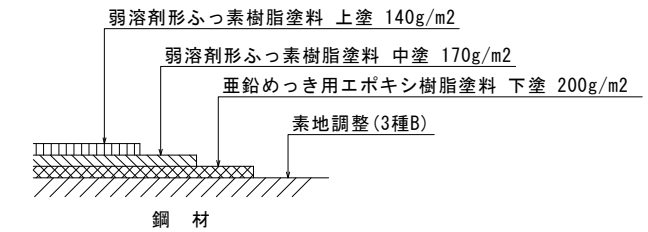
塗装面積図
S=1/15



高欄塗装工数量表

部 材	面積 (m2)	備 考
支 柱	15.9	$((0.108 + 0.089) \times 2 + 0.030 + 0.019) \times 18 \times 2$
主要横梁	28.9	$0.439 \times (32.890 + 32.920)$
下部横梁	18.4	$0.280 \times (32.890 + 32.920)$
横 棧	12.1	$0.092 \times (32.890 + 32.920) \times 2$
縦 棧	12.2	$0.031 \times 197 \times 2$
合 計	87.5	

施工要領図



高欄塗装仕様

工 種	塗 料 名	標準使用量 (g/m²)	塗装間隔 (気温20°Cの場合)
素地調整	3種B	-	4時間以内
下塗り	亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170	1~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	

(注記)

- 塗替塗装仕様は、鋼道路橋防食便覧 平成26年3月 日本道路橋協会に準拠する。
- 塗装面積の範囲は現場確認の上、適宜変更するものとする。
- 錆・腐食部の素地調整を行うこと。(健全な亜鉛メッキ部の素地調整は不要)

(注記)

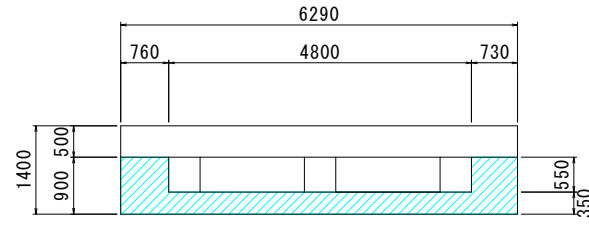
- 本図面は現地計測により作図したものである。
- 施工前に再度計測を行い、寸法形状の確認を行うこと。

工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	高欄塗装工詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	6 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

下地処理工詳細図

A1橋台 S=1/60

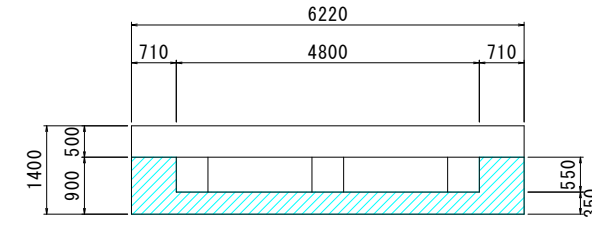
平面図



橋座面積 : $0.9 \times (0.76+0.73) + 0.35 \times 4.8 = 3.021\text{m}^2$

A2橋台 S=1/60

平面図

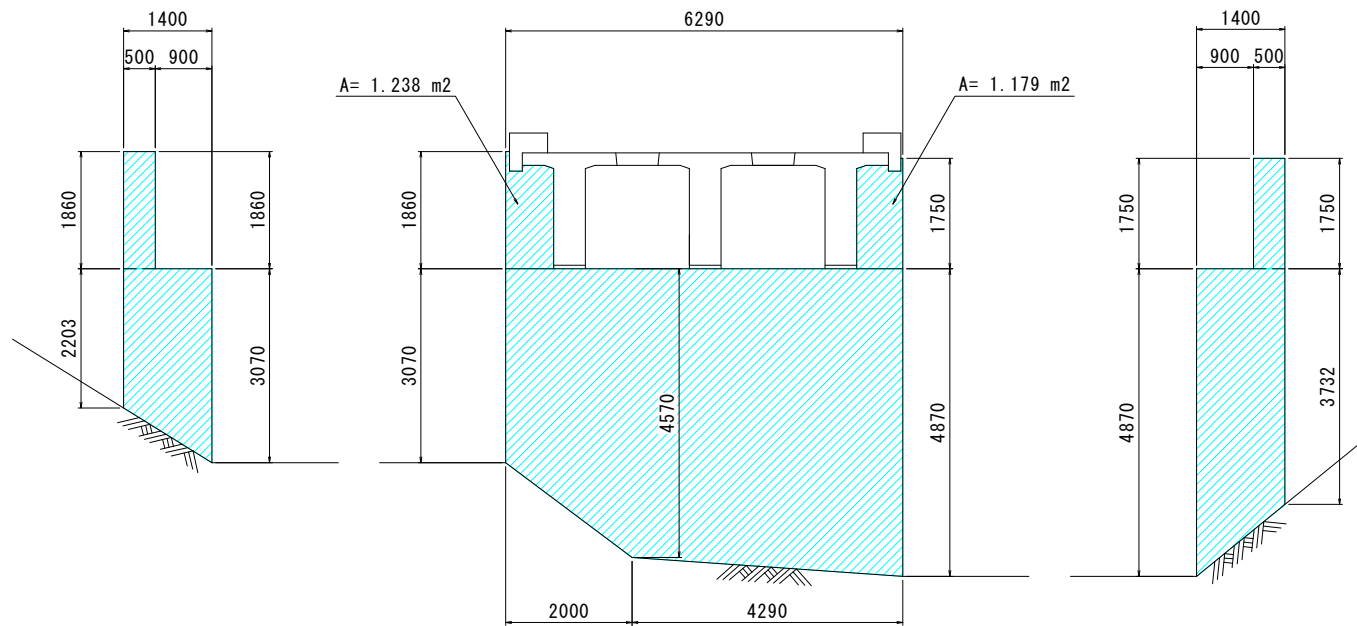


橋座面積 : $0.9 \times 0.71 \times 2 + 0.35 \times 4.8 = 2.958\text{m}^2$

側面図

正面図

側面図



胸壁面積 : $0.500 \times 1.860 = 0.930\text{m}^2$
 縦壁面積 : $1.4 \times (3.07+2.203) / 2 = 3.691\text{m}^2$

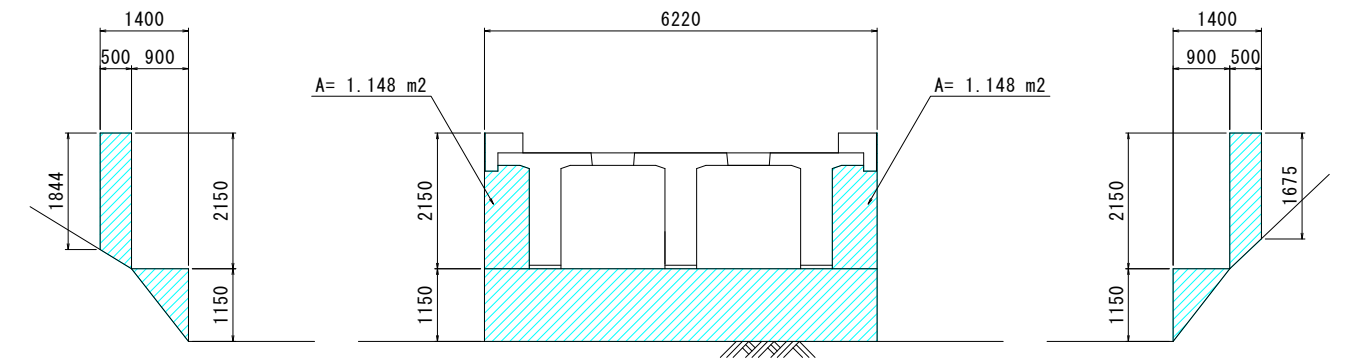
胸壁面積 : $1.238+1.179 = 2.417\text{m}^2$
 縦壁面積 : $2.0 \times (3.07+4.57) / 2 + 4.29 \times (4.57+4.87) / 2 = 27.889\text{m}^2$

胸壁面積 : $0.500 \times 1.750 = 0.875\text{m}^2$
 縦壁面積 : $1.4 \times (4.87+3.732) / 2 = 6.021\text{m}^2$

側面図

正面図

側面図

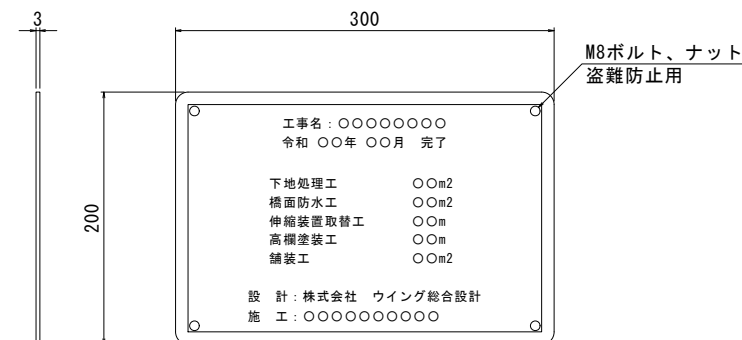


胸壁面積 : $0.5 \times (2.15+1.844) = 0.999\text{m}^2$
 縦壁面積 : $0.9 \times 1.15 / 2 = 0.518\text{m}^2$

胸壁面積 : $1.148 \times 2 = 2.296\text{m}^2$
 縦壁面積 : $1.15 \times 6.22 = 7.153\text{m}^2$

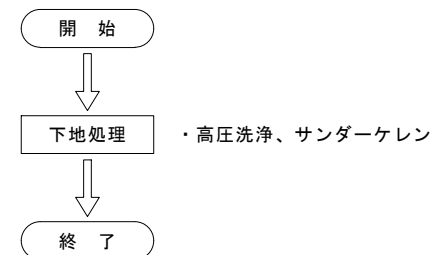
胸壁面積 : $0.5 \times (2.15+1.675) / 2 = 0.956\text{m}^2$
 縦壁面積 : $0.9 \times 1.15 / 2 = 0.518\text{m}^2$

補修歴板 (参考図) S=1/3



- (注記)
- 補修歴板には、補修年度、補修箇所、補修内容、設計会社、施工業者名を明記すること。
 - 板厚 3mmとし、材質はアルミ板にインクジェットシートを貼り付ける。
 - 取付位置は起点左側、橋梁端部とし、詳細位置については監督員の指示によるものとする。

下地処理工



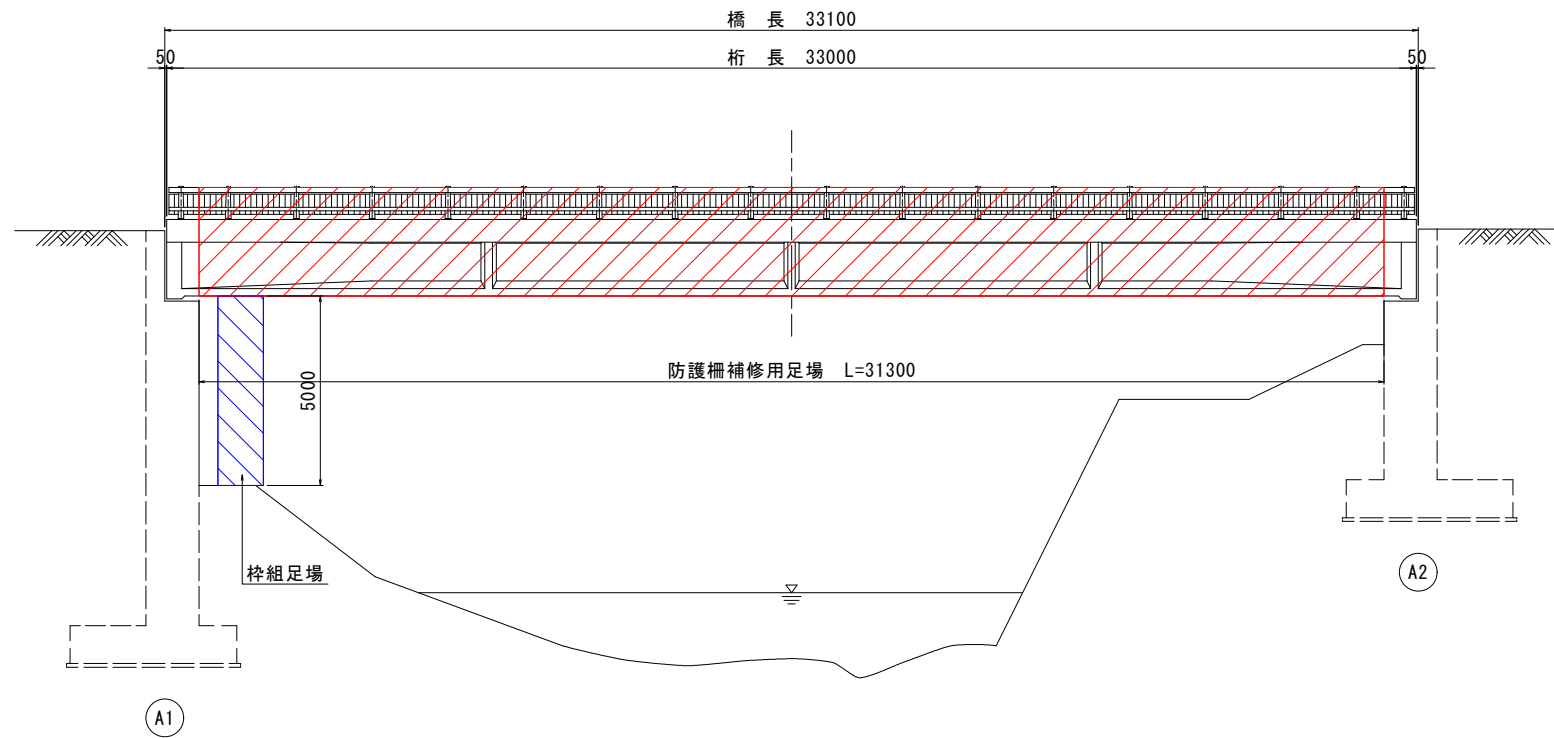
下地処理工数量表

部材	面積 (m2)	計算式	
A1橋台	胸壁	4.2	2.417+0.930+0.875
	縦壁	40.6	3.021+27.889+3.691+6.021
	小計	44.8	
A2橋台	胸壁	4.3	2.296+0.999+0.956
	縦壁	11.1	2.958+7.153+0.518+0.518
	小計	15.4	
合計	60.2		

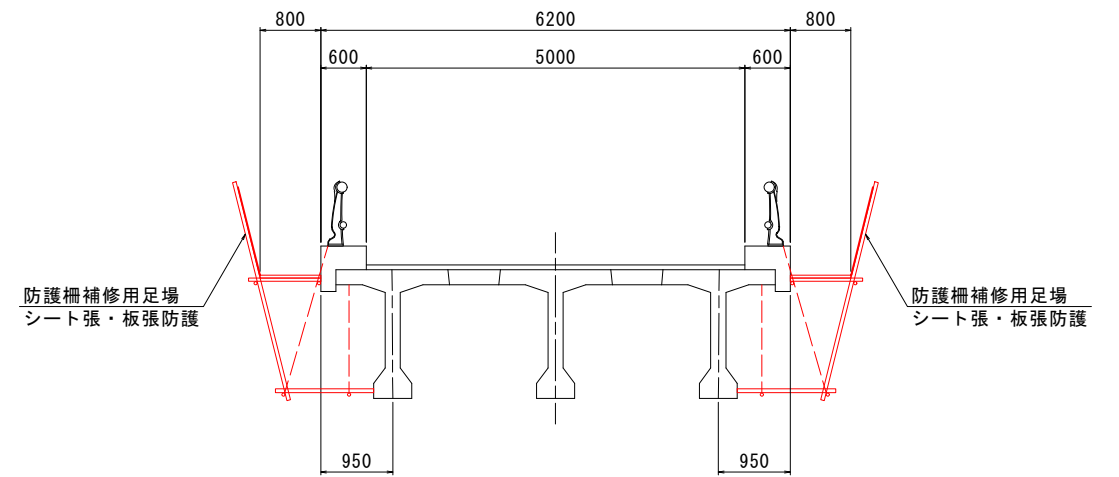
工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	下地処理工詳細図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	7 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

仮設足場参考図

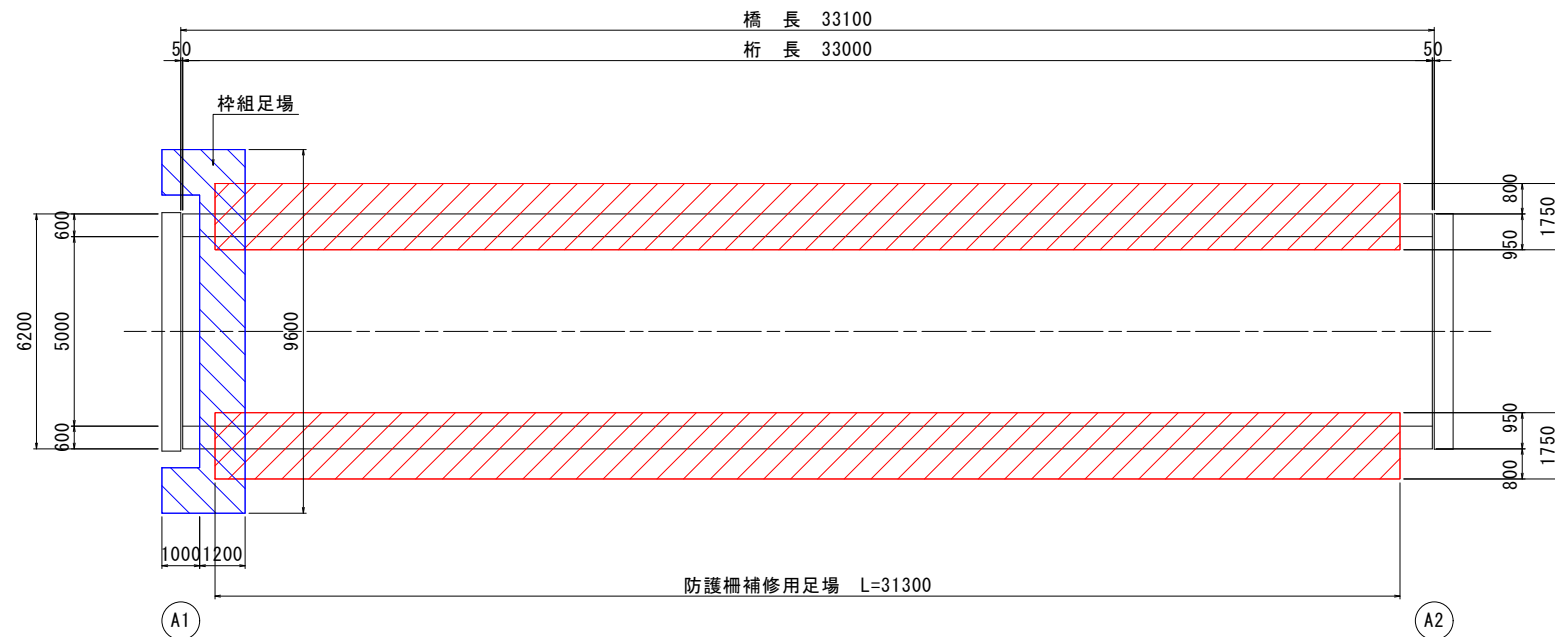
側面図
S=1/100



断面図
S=1/50



平面図
S=1/100



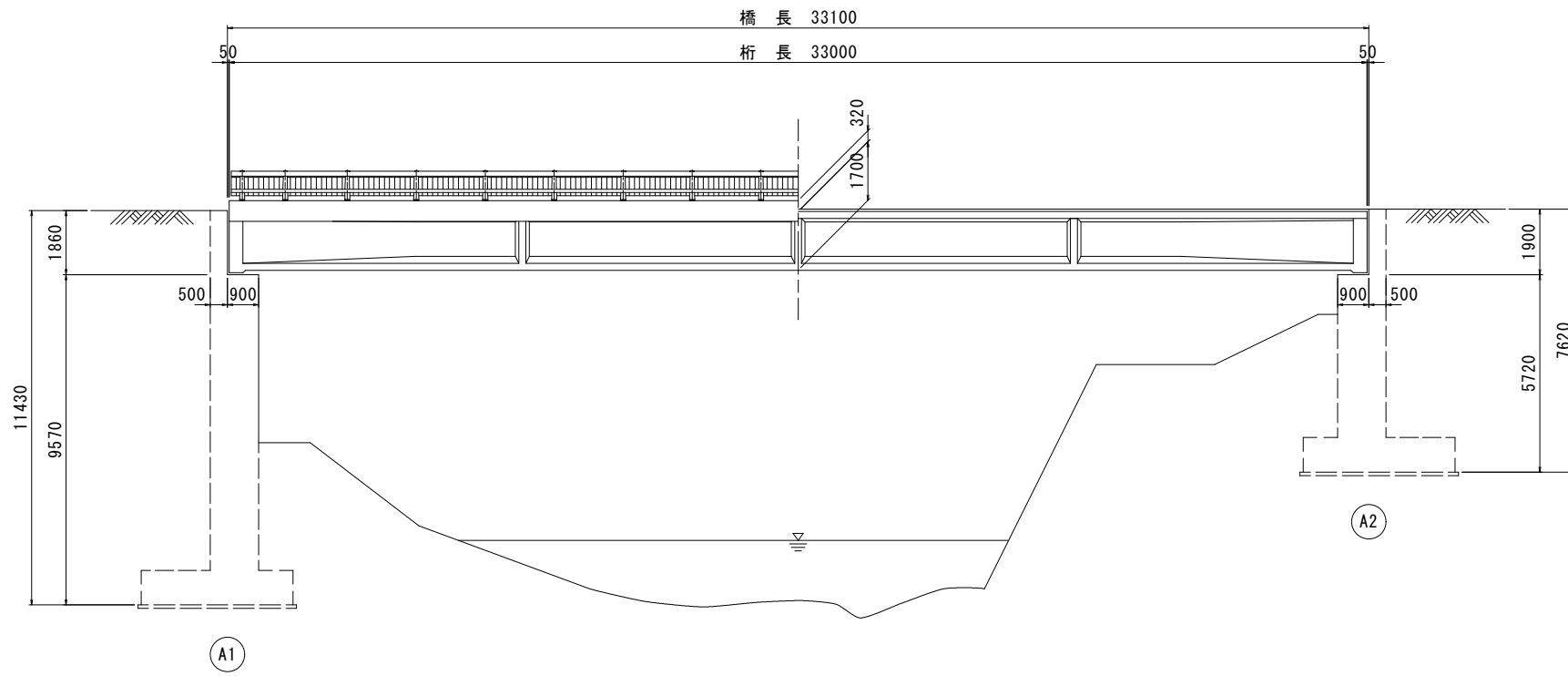
足場工数量表

名称	計算式	単位	数量
防護柵補修用足場	$(0.950 + 0.8) \times 31.300 \times 2$	m ²	109.6
枠組足場	$(9.600 + 1.000 \times 2) \times 5.000$	m ²	58.0

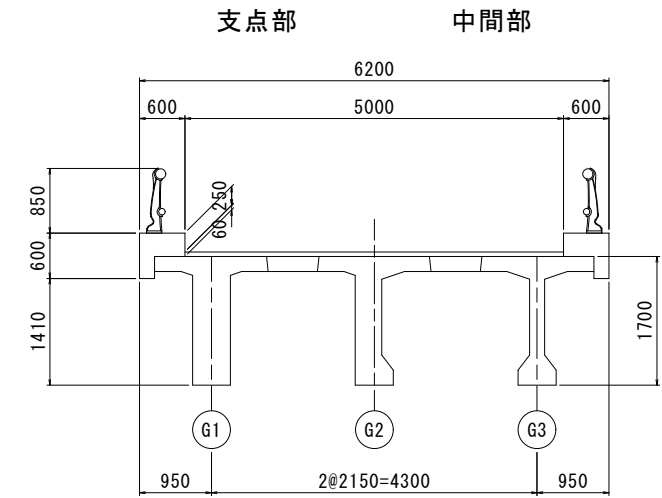
工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	仮設足場参考図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	8 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		

既設橋梁全体一般図

側面図
S=1/100

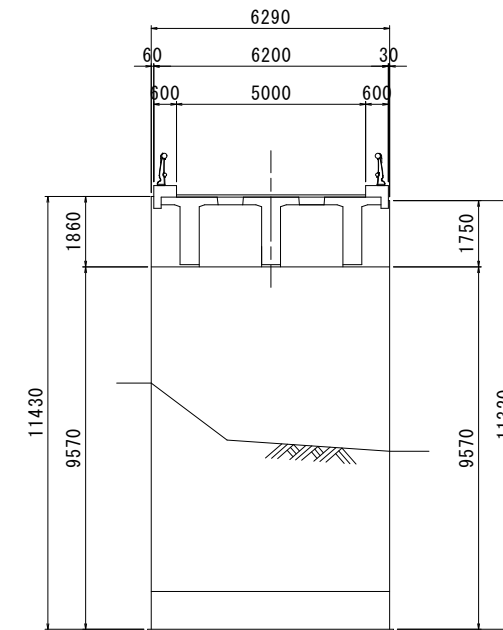


標準断面図
S=1/50

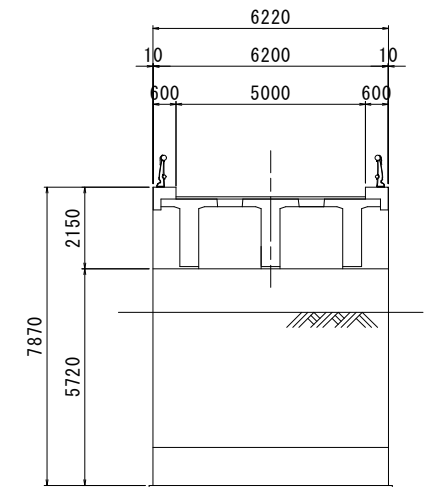


断面図
S=1/100

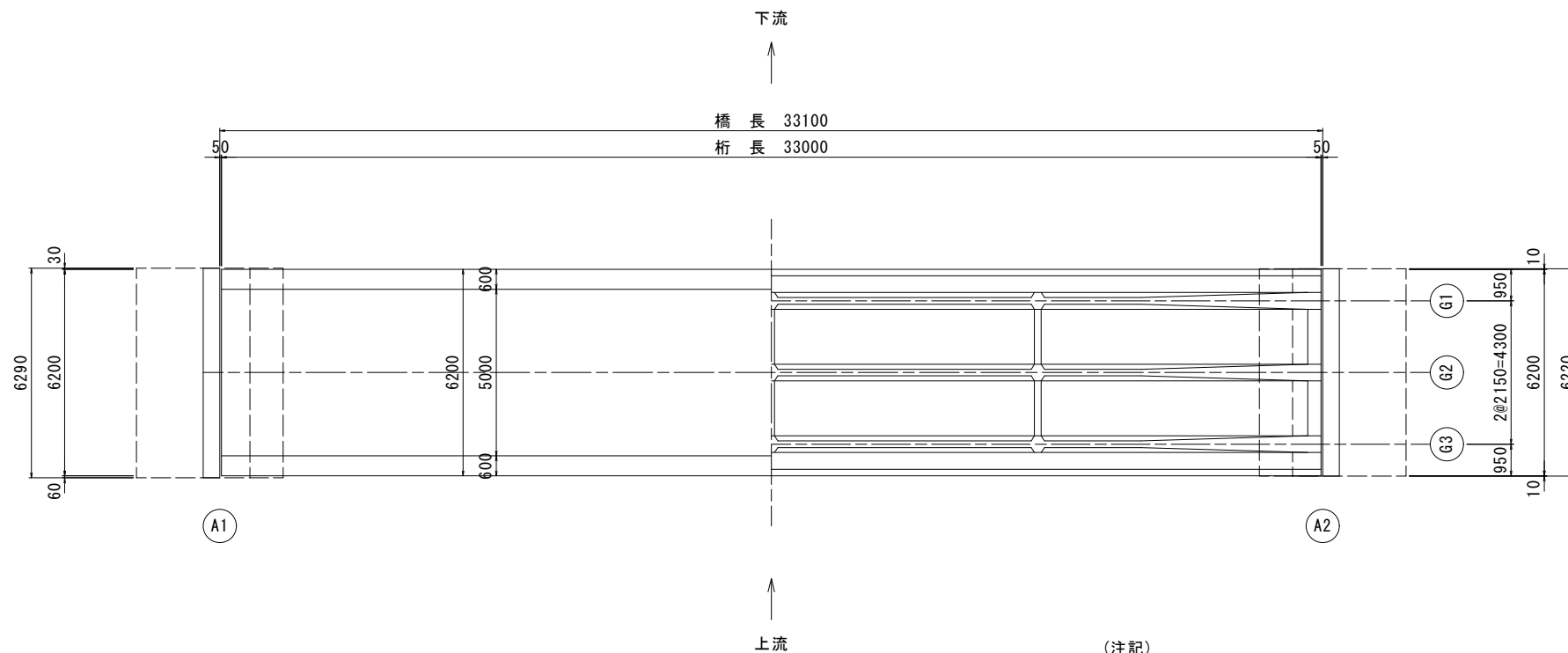
A1橋台



A2橋台



平面図
S=1/100



設計条件

上部構造形式	PCポステンション方式単純T桁橋
下部構造形式	逆T式橋台 (A1, A2)
基礎形式	直接基礎 (推定)
橋長	L = 33.100 m
総幅員	W = 5.000m + 2 × 0.600m = 6.200m
設計活荷重	TL-20
塩害対策区分	A - II 区分
架設年次	1994年
供用年数	29年 (2023年現在)

(注記)

1. 本図面は現地計測により作図したものである。
2. 施工前に再度計測を行い、寸法形状の確認を行うこと。

工事名	トバヤ橋補修工事		
図面名	既設橋梁全体一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	9 / 9
会社名			
事業者名	東村役場 建設環境課		